

## 令和2年度 第2回学校関係者評価委員会 報告

1 日 時 令和3年2月22日(月) 15:15~16:30

2 場 所 本校視聴覚室

3 出会者 学校関係者評価委員6人, 本校職員19人

### 4 内容

(1) 開会の言葉

(2) 校長あいさつ

(3) 本年度の活動状況等について(各課程15分ずつ)

- ・「今年度の重点目標及び具体的な取組」の反省等と次年度への課題

(4) 学校評価アンケート結果報告(各課程)

(通信制課程の生徒による評価は、次年度第1回学校関係者評価委員会で報告)

(5) 質疑・意見交換

ア 感想・質疑

#### 関山 徹 委員

- ・ 長く委員を務めてきているが、今年度は特に各課程の先生方の説明に力がこもっていたと思われた。職員間の連携を特に意識されていると感じた。
- ・ 全日制の「授業気づきシート」は、大変良い取組だと思う。教員間の相互評価は重要なことだ。
- ・ 全日制、定時制の「生徒情報交換会」は係の枠を超えてシームレスに行っているところが良いと思う。全生徒を取り上げつつ、日々気になる生徒の例を継続的に取り上げていくことが大切であり、他のケースにも活かすことができる。他の生徒や職員への波及効果も見込まれる。

#### 堀切園 政嘉 委員

- ・ 各課程とも新型コロナウイルス感染症対策によく取り組んでいると感じた。
- ・ 今年度の非行防止取組についての特徴。
  - 刑法犯 39人(中学生7人, 高校生11人)《昨年度30人》…9人増加
  - 触法少年 17人(小学生12人, 中学生5人)《昨年度20人》…3人減少
  - 特別法犯 10人《昨年度10人》大麻取締法違反による補導4人。増加傾向にあり、薬物が少年にも広がりつつあると思われ、危惧している。
- ・ 声かけ案件が42件。学校近隣での案件も多数。また、下半身露出も発生。生徒の安全を守るためにも注意喚起等お願いしたい。

#### 福永 浩幸 委員

- ・ 谷山中の卒業生が各課程とも大変お世話になっている。いろいろ苦しい思いをした生徒たちが、開陽高校に入学して、新しいステップを踏み出していることに感謝している。
- ・ 現在も開陽高校を志望している生徒もおり、生徒も身近に感じている。
- ・ [質問] 業務改善について。業務改善アクションとして、学校全体、あるいは各課程等での「ワンアクション」「ワントライ」の具体的な取組があれば教えていただきたい。  
[回答] 学校全体としては会議の縮減を掲げている。全日制・通信制は職員朝礼を週1回減らし、定時制は職員昼礼を週2回減らした。縮減することで、教科会や年次会などの時間を創出できると思う。また、「ワントライ」は個々の職員にそれぞれ設定を依頼している。

#### 溝口 明生 委員

- ・ 日頃からの PTA 活動に対する理解、協力を感謝している。
- ・ 〔質問〕 新型コロナウイルス感染症について、ここ最近は感染者数も落ち着きつつあるが、身近にウイルスの脅威が迫っていることには変わりはない。生徒の周りで感染者が発生し、濃厚接触者となった時など、生徒を守る対策をしていただきたい。今の感染症対策はどのようになっているか、教えていただきたい。  
〔回答〕 各課程保健部を中心に、「危機管理マニュアル」に則り、対策を講じている。これからもしっかりと感染症対策に努めていきたい。
- ・ 〔質問〕 来年度から小中学校では「GIGA スクール構想」が始まり、児童生徒一人に 1 台ずつタブレットが配布される。今後その学習や指導を受けてきた子どもたちが高校に入学してくるのだが、どのような対応を考えているのか。機器などの整備の予定はあるのか。また、今後オンライン授業も増加していくかもしれない。「新しい生活様式」の社会に適応できる人材を輩出できる環境にしてほしい。  
〔回答〕 「GIGA スクール構想」に関しては、今後対応していく必要があると思う。現在大型テレビや電子黒板、全日制と定時制の生徒数のタブレットなどが整備されつつある。情報教育についても、令和 4 年度からの新教育課程で大きく変化していく。対応をしっかりと検討していく。

#### 福満 ゆかり 委員

- ・ 息子が卒年次の進級を控え、家族で進路について話すことが増えたが、本人はなかなか意識しておらず、保護者としては不安もある。兄は 2 年生の頃から学校側から強く進路目標の設定を求められてきた。生徒本人の進路や将来のビジョンを具体的に考えられるような進路指導をしてほしい。
- ・ 〔質問〕 進路の具体的な目標を定めるためにどのような指導をしているのか。  
〔回答〕 進路資料閲覧室で求人票や各大学専門学校の資料があることを生徒に周知させ、いつでも閲覧できるようにして、進路選択の参考にさせている。また、応募前事前見学についても案内し、希望者は就職試験の前に職場見学にも行っている。生徒自身の感覚としてはゆっくりと構えている者が多く、早くからの進路選択をさせるためにも情報提供等に努めたい。

#### 福永 政治 委員

- ・ 学校になじめない子どもたちが増えている中、開陽高校の通信制はありがたい存在で感謝している。
- ・ 各地区の協力校においても、コロナ禍での対応、対策をしっかりと講じてほしい。協力校に通学している生徒の状況把握に努めてほしい。
- ・ 進路については、卒業しても就職や進学が難しい子がいる。心身のことや、家庭のことなど様々な問題を抱えている子もいる。そのような子どもたちの行き先として行政や福祉の手を借りないといけないのではないかな。そのような子どもたちの卒業後の居場所や状況の把握も必要ではないかな。

#### イ 今後への提言等

##### 関山 徹 委員

- ・ 開陽高校の生徒の中には、頑張って卒業が精一杯の目標の子どもたちもいると思う。進路が決まらない子どもたちのその後のステップも考えないといけないと思う。年に 1, 2 回職員が無理のない範囲で、卒業生の継続的なフォロー（相談や面談など）があってもよいのではないかな。大学でもそのような取り組みをしているところである。職員が疲弊してはいけないが、卒業後 3 年くらいはできる範囲でのフォローが必要だと思われる。卒業しても見守ってくれる先生がいる、と思えることは大事である。

#### (6) 閉会の言葉